



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

98.10.15 No.4861

新たな臨戦体制宣言 10・11三里塚集会開催



北原事務局長

「成田空港拡張工事絶対阻止、農地強奪粉碎、敷地内破壊攻撃粉碎、脱落派粉碎・一掃」10・11全国総決起集会は、成田市東峰の反対同盟員所有地にて全国から二二〇〇〇名の結集で開催され、二〇〇〇年平行滑走路完成阻止へ、新たな臨戦体制への突入を宣言する場としてかちとられた。

集会は、本部役員三浦五郎さんの開会あいさつで始まり、基調報告を北原鈺治事務局長が行った。北原さんは、敷地内の市東さんの畑に平行滑走路完成粉碎にむけた大看板を立てた。最近公団は滑走路工事にむけて、用地売却の強要などで押しわたろうとしているが、彼らの展望は見えない。一坪も奪うこと

新たな臨戦体制を宣言する

はできないし、反対同盟には闘う拠点がたくさんある。われわれの正義の闘いが展開されなければ日本の未来はない。未来のために闘ってほしい。これを三十二年前から訴えてきた。空港絶対反対、話し合い拒否、農地死守、これが基本的原則だ。ガイドラインや自衛隊出兵にむけて二〇〇〇年開港を目指すなら、今までの体制で闘いぬく。今日から新たな臨戦体制で断固廃港においこむ、と力強く宣言した。

つづいて萩原進事務局長が、東峰開拓道路を公団が強奪しようとする動きにたいして、東峰区民の総意として「開拓道路協同組合」を整備しなおし、関係者の権利の回復とこの地で農業を続けるために立ち上がったことが報告された。特別報告として動労千葉田中書記長が、反対同盟の臨戦体制に動労千葉もともに車の両輪として闘いぬくことを明らかにした。

また反対同盟の決意表明で市東東市さん、鈴木幸司さん、郡司とめさん、小川陽一さん、小林なつさんがそれぞれ発言した。顧問弁護団葉山弁護士さらに関西・北富士・沖縄など全国で闘う支援団体・共闘団体から連帯と決意のあいさつを受けて集会は終了した。

その後平行滑走路用地周辺をデモ行進して、反対同盟の臨戦体制に応え、闘いぬく決意をうち固めた。

五三八労組、二一五名の署名
ありがとうございます！
全力で十一・八集会へ

5・28反動判決弾効の署名運動には、全国から、五三八労組(団体の団体署名と、学者・弁護士など有識者二一五名の個人署名、合計七五三筆の署名が寄せられた。5・28判決に対する危機感と怒りの声は、われわれの想像をこえて全国に充満している。5・28判決と真正面から対決し、判決弾効の大運動をさらに広汎にまき起こそう。

歴史を画する攻撃

政府・自民党は、5・28判決によって、労組法や労働委員会制度を空文に等しいものに落として、労働者の団結権をうち砕こうとしている。大失業と戦争の時代が本格的に始まる状況のなかで、否応なく起きるであろう労働者の反乱や闘いに対して、戦後の労働法規などを無視して徹底して弾圧することを宣言したのだ。われわれは、大失業時代における労働者政策の焦点として、5・28判決がふり下ろされたこと、その意味で5・28判決は、労働運動にとって、歴史を画するような意味をもつ重大な攻撃であることを見すえなければならぬ。「5・28の前と後とでは、労働者の置かれた位置が全く変わったということだ。

11・8全国集会へ

彼らは、国鉄闘争を軸として、労働運動の再生を願う膨大な労働者の怒りの声が結集している状況のなかに、自らの足元を揺るがす火種が存在していることを見ぬいて拒否している。ミリの譲歩すら拒否しているのだ。国労のなかからも、深刻な動揺が生まれている。しかし5・28判決によって、政府・自民党は、全ての労働者を敵にまわってしまった。5・28判決をきっかけとして、動労千葉と関西生コン、全金港合同三組合の呼びかけによる、闘う労働組合の全国ネットワークをめざす取り組みが開始された。5・28判決と真正面から対決する闘いを組織すれば、この大反動を、闘う労働運動の新しい潮流の本格的な発展と一〇四七名闘争の勝利に向けた転機とすることは全く可能だ。全力で、11・8全国労働者集会の成功をかちとろう。

